

松井 雅宏・越川 慶一  
首藤 孝治・牧田 俊之

# 改革フォーラム



首藤孝治議員



一般質問動画

**【総合体育館】** スポーツ都市宣言をしている苫小牧市において、総合体育館は築46年、耐震B判定、メインアリーナの床面にはササクシや歪みなどがあり修繕しながら利用しているため、各種競技において不具合が生じています。今後この施設を現地改修とするのか、移設改築とするのかなどを質問し、市は「今後の方向性を令和元年度中に示せるよう協議を進める」との答弁がありました。

**【家庭ごみの戸別収集】** 平成28年7月から約4500世帯を対象にモデル地区を選定した家庭ごみの戸別収集ですが、コストや人材確保、収集時間などの面から見ても、この事業に踏み込むことは物理的に難しい状況であることを市も認識しており、今後の方向性について、早急に判断する必要があると指摘し、質疑をおこないました。



越川慶一議員



一般質問動画

**【防災対策】** 平成30年9月に発生した胆振東部地震から1年、その教訓を基に令和元年は復興元年として、多くの取り組みべき課題と向き合い、優先順位を付けながら、市民が安全で安心して暮らせる街づくりを着実に進めなければならぬと考え、各種防災マニュアルの改定や備蓄品の整備などを中心に質問しました。

**【観光行政】** 通過型の街という短所を逆手に「あえて通過されることを意識した街づくり」として、人気のある工場夜景を活用し、そこまでの道路をイルミネーションで装飾するなど新たな観光誘客を提案しました。

**【東部東地域のまちづくり】** 沼ノ端駅周辺に宿泊施設や飲食店、大型書店などを積極的に誘導すべきと提案。地域待望の郵便局は令和元年度中の開設を目標に準備を進めているとの答弁がありました。



松井雅宏議員



一般質問動画

**【人生100年時代への対応】** 団塊の世代が後期高齢者に突入する「2025年問題」を取り上げ、先進事例の提案と既存の高齢者の生きがいや健康対策を強化充実させ、人生100年時代へ備えるべきとの観点で質問しました。

**【勇払地区の振興】** 令和2年1月に日本製紙(株)北海道工場勇払事業所の洋紙生産が停止されることによる雇用への影響を最小限に留めるため、関係機関と連携のもと人手不足の地元企業とのマッチングを求めました。さらに、勇払地区への影響を踏まえて、地区計画の策定や住民との協議の場を持つべきと提案しました。

**【生ごみの減量化】** 家庭から排出される燃やせるごみの半分が生ごみであることを指摘し、生ごみを自家処理している家庭に無料ごみ袋の配布を提案し前向きに検討するむねの答弁がありました。



牧田俊之議員



一般質問動画

**【スポーツ振興】** 市総合計画に示されている武道場の整備に関しては、今後の総合体育館における、あり方検討を進める中で、武道場の設置も含めて検討するむねの答弁がありました。なお、弓道場に関しても競技団体からの意見を伺いながら、準備を進めたいとの考えが示されました。

**【スポーツ合宿】** 各競技団体の合宿に合わせて、講習会などの開催を提案し、市は「講習会などの開催を強く要望することは難しいが、少年団などが合宿団体へ問い合わせることは可能」との答弁がありました。また、市内で競技熱が高まっているスケートボードの練習環境整備として、使用廃止施設の利活用を提案しました。

**【高齢者就労】** 高齢者就労の実態及び今後の動向、外国人活用に関する周知や中小企業の支援策「つまジョブ」について質問しました。